

耐火パテ 硬化型不燃タイプ IPF  
施工要領書

2021年 6月 24日

因幡電機産業株式会社  
技術開発統括部

## 1. はじめにお読みください

本製品は、壁や床などの埋め戻し処理やすきま埋めの材料です。  
それ以外の用途に使用しないでください。

### 【お願い】

#### 1) 使用上の注意事項

- ・ 不燃性配管以外の配管（冷媒配管など）については、防火区画貫通部の埋め戻し処理材としての使用はできません。
- ・ 常に湿度が高い環境や結露することが考えられる場所では使用できません。一時的に湿度が高くなるおそれがある場合は、必ず別売の防湿保護スプレーIPF-Sで処理をおこなってください。
- ・ 屋外では使用できません。また、雨水など水の侵入のおそれがある所（水がかかる場所）に使用する場合は、一般的なアスファルト系水性エマルジョンタイプの塗膜防水材を使用してください。
- ・ 配管の支持・固定機能はありません。別途配管の支持・固定を確実に行ってください。また、硬化後に負荷、振動が加わりますとパテが脱落するおそれがあります。
- ・ 作業時は、作業手袋などを着用してください。
- ・ 開封後はすぐに使用してください。
- ・ 平滑な非孔質（金属面、プラスチック面、塗装面、撥水性コーティング面）には付着しません。
- ・ 乾燥硬化型のため躯体のひずみやたわみには追従しませんので、シール性が要求される目地部へは使用しないでください。
- ・ 接着やシーリング用途では使用しないでください。
- ・ 本製品は厚さ 10 mm以上で不燃材料認定を取得しています。防火区画貫通部の埋め戻しなどで使用する場合は、事前に所轄の官公庁に相談してください。

#### 2) 保管方法

- ・ 製品は凍結させないでください。  
※一度凍結すると解凍させても元の状態に戻らない可能性があります。
- ・ 直射日光を避け、冷暗所に保管してください。

#### 3) 取り扱い上の注意事項

- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 皮膚に付着した場合は、水で洗い流し異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ・ 目に入った場合は、水で十分に洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・ 口に入った場合は、水で十分にすすぎ、医師の診察を受けてください。
- ・ 本書に記載されていない安全情報につきましては、安全データシート（SDS）を確認してください。
- ・ 使用後はよく手を洗い流してください。

## 2. 関連部材

### 2-1. 防湿保護スプレー IPF-S

#### 2-1-1. はじめにお読みください

本製品は、「耐火パテ硬化型不燃タイプ IPF」専用の防湿保護スプレーです。それ以外の用途に使用しないでください。

#### 【お願い】

- ・雨水など、水の浸入のおそれがある所（水がかかる場所）など長時間の防水効果が必要な場合は、別途一般的なアスファルト系の水性エマルジョンタイプの塗膜防水剤などをご使用ください。（ご不明な点は、当社までお問い合わせください。）
- ・スプレーには可燃性ガスや人体に有害な物質を一部使用しておりますので、使用の際にはスプレー缶の記載内容を確認のうえ、必要に応じてMSDSを参照してください。
- ・スプレーに防水性能はなく、また耐火パテ IPF(硬化促進剤使用時も含む)は水に対する耐久性が低いので注意してください。

#### 2-1-2. 施工要領

- 1) 使用前に製品に記載の危険有害性情報、注意事項を確認してください。
- 2) 耐火パテ IPF の表面が十分に乾燥していることを確認してください。
- 3) 耐火パテ IPF および周辺部材の表面のホコリ、ゴミは取り除いてください。
- 4) 防湿保護剤が周辺に付着しないように養生してください。
- 5) 使用前に缶をよく振ってください。
- 6) 耐火パテ IPF の表面からスプレーノズルを約 5～10 cm程度の距離で均一に塗布してください。十分な防湿効果を得るために、表面に艶が出るまで、2～3回程度重ね塗りをしてください。
- 7) 使用可能面積の目安は1～1.5 m<sup>2</sup>/缶です。

### 2-2. 硬化促進剤 IPF-K

#### 2-2-1. はじめにお読みください

本製品は、「耐火パテ硬化型不燃タイプ IPF」と練り合わせて使用する専用の硬化促進剤です。それ以外の用途には使用しないでください。

#### 【お願い】

##### 1) 注意事項

- ・IPF-Kは、単体では使用できません。必ず規定値で、IPFと均一に練り合わせてから使用してください。規定値以外の重量比で練り合わせたり、不均一に練り合わせたりしますと、施工後にヒビ割れなどの原因となります。
- ・IPF-Kは、IPF：IPF-K=8：1(重量比)の混合比を必ず守ってください。

- ・開封後はすぐに使用してください。
- ・IPF-KをIPFと練り合わせたパテは、IPFに記載の「使用上の注意事項」にしたがって使用してください。

2) 保管方法

- ・製品は凍結させないでください。  
※一度凍結すると解凍させても元の状態に戻らない可能性があります。
- ・直射日光を避け、冷暗所に保管してください。

3) 取り扱い上の注意事項

- ・子供の手の届かないところに保管してください。
- ・皮膚に付着した場合は、水で洗い流し異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合は、水で十分に洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・口に入った場合は、水で十分にすすぎ、医師の診察を受けてください。
- ・本書に記載されていない安全情報につきましては、安全データシート（SDS）を確認してください。
- ・使用後はよく手を洗い流してください。

以上